

第 5 回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

平成 23 年 3 月 8 日（火）

時間 午後 1 時 30 分から

場所 図書館視聴覚室

○議 事

山崎議長	・ただ今から、「第5回弥富市地域公共交通活性化協議会」を開催する。 ・今年度最後の協議会であり、議題は2点ある。
服部市長	・大変お忙しい中、本協議会への出席を感謝する。 ・皆様には、平素は交通行政のみならず、市政に対して大変なご理解をいただいていることを改めて感謝申し上げます。 ・先月15日にはこの地方に春を呼ぶという裸祭りが開催され、春はそこまで来ているようだが、なかなか暖かにならないこの頃である。 ・本日は、第5回目の協議会であり、これまでの会議の中で、皆様方からは貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。 ・昨年からはまった3年間の実証実験をしっかりと行い、市民の皆様の足となるように努めたい。 ・本日もそれぞれの議題をご審議いただきますよう、よろしくお願いしたい。
山崎議長	・それでは議題に入る。本日の議題は、平成23年度弥富市地域公共交通活性化協議会事業計画及び予算の承認が主なものである。 ・事務局より、平成23年度弥富市地域公共交通活性化協議会事業計画及び予算について、資料の説明をしていただく。
事務局（伊藤）	資料の確認 資料1：平成23年度弥富市地域公共交通活性化協議会 事業計画（案） 資料2：平成23年度弥富市地域公共交通活性化協議会 予算（案） 資料3：改正時刻表
事務局（伊藤）	資料説明 ○資料 1 説明 平成 23 年度弥富市地域公共交通活性化協議会事業計画（案） 1．弥富市コミュニティバス実証運行 ・来年度の実証運行は、今年度の検証結果を基に設定した新ルート・ダイヤによる実証運行を平成 23 年 4 月 1 日より開始 2．実証運行の検証、改善方策の検討 ・実証運行の検証及び改善方策を検討するため、利用者実態調査やモニタリング調査等の必要な調査を実施 ・項目としては今年度と基本的には同じで、「利用者実態調査」「モニタリング調査」「周辺自治体の公共交通との連携」を行う。 3．利用促進策の実施 ・「改正時刻表の配布」は、平成 23 年 4 月 1 日からの実証運行における新ルート・ダイヤに基づき作成した時刻表を平成 23 年 3 月中旬頃に全戸配布する予定。 ・「利用者負担軽減策の実施」は、コミュニティバス利用者の運賃負担の軽減

	を図り、利用促進を図るため、定期券を平成 23 年 4 月 1 日から導入。 ・「運行に係る財政的負担軽減策の実施」は、コミュニティバスの運行に係る財政的負担の軽減を図るため、協賛広告募集事業を平成 23 年 4 月 1 日から導入。 ・「その他利用促進策の実施検討」は、コミュニティバスの利用促進を図るために、「お試し乗車券」「利用促進イベントの実施」「市広報・HP を活用した周知活動の実施」などの利用促進策の実施を検討。 ・「利用促進イベントの実施」について、4 月 3 日の弥富市春まつりにおいて、きんちゃんバス車両の展示及びバス運転士などの制服を借り、子どもさんに着用、記念撮影を行うなど、きんちゃんバスの PR を実施。このイベントの準備には、愛知県バス協会さんと三重交通さんにいろいろとご配慮をいただいた。 4 . 協議会の開催 ・協議会の開催と作業の概ねのスケジュールを 2 ページ目に提示。 ・協議会は計 4 回を予定、作業の進捗にあわせ、適宜開催予定。 ○資料 2 説明 予算案について、資料2をもとに説明。
山崎議長	・資料 1、2 は、来年度の事業計画（案）と予算（案）の報告であった。 ・事業計画のメインは、本年度に引き続き、実証運行の実施である。それから実証運行の評価のための実態調査やアンケート調査を実施する予定ということである。あとは、利用促進策であるが、まだ運行開始から 1 年であるので、利用促進策に力を入れていく必要があるということで予算が確保されている。 ・今の説明に対して、意見、質問があれば出していただきたい。
代理 崎下氏 （交通対策課）	・事業計画の中で確認したい事がある。 ・昨年度末の協議会で策定した連携計画の中では、乗り継ぎ拠点の整備があった。今年度検討して、来年度に佐古木駅の整備を始めるという内容であったと思うが、今年度の 8 月の協議会の中では、ルート、ダイヤの検討の中で併せて検討したいという事務局の説明であったかと思う。今回の計画案の中では、乗り継ぎ拠点について触れられていないようである。そのへんはどうなっているか。
山崎議長	・事務局、いかがだろうか。
事務局（伊藤）	・拠点整備の中で、一番問題となっているのは佐古木駅である。都市計画と調整しながら進める予定である。具体的には、協議会の中ではなかなか難しいということで、今回は計画の中からは外させていただいている。
代理 崎下氏 （交通対策課）	・ということは協議会の事業として進めるのではなく、弥富市の事業として進めるということか。
事務局（伊藤）	・基本的には、そういう形で現在、調整を進めている。
山崎議長	・そのあたり、計画の項目に出しているからには、何らかの説明を今年度の報告書の中でした方がよいのではないか。
事務局（伊藤）	・22年度ということか。
山崎議長	・そうである。今年度、このような検討をしたが、23年度には項目には出さ

	ないと…。
事務局（伊藤）	・来年度の最初の協議会で、事業報告と決算があるので、その段階で行いたい。
山崎議長	・了解した。 ・ほかには、よろしいだろうか。 ・まだ、調査については具体的にはなっていない。調査の中身は、来年度の協議会の中で検討し、実施して行く事になると思う。 ・今、具体的になっているのは、4月の春祭りのイベントだけなのか。ほかには、ないか。
事務局（伊藤）	・具体的な話としては、春まつりのみである。 ・22年度の事業を踏襲しながら、23年度も進めてまいりたいと思っている。 ・また実証運行や経費の削減についての事業も行う予定である。
山崎議長	・ほかには、よろしいだろうか。 ・それでは、今、説明いただいた事業計画案、予算案を承認していただける方は挙手をお願いしたい。
委員一同	全員挙手
山崎議長	・事業計画案、予算案は承認された。事務局で来年度に向けて、準備を進めていただきたい。 ・それでは、2つ目の議題に入る。23年度コミュニティバス運行について、事務局より説明していただく。
事務局（伊藤）	資料説明 ○資料3 説明 ・時刻表の内容や配布日程について説明 ・定期券等について説明
山崎議長	・4月1日からの新しい時刻表についての報告だった。 ・これは印刷に入っていて、もう修正は不可能か。
事務局（伊藤）	・来週の月曜日から配布を始める予定であるので、今、印刷中である。今年度は、この形で配布させていただきたい。
山崎議長	・私自身、いろいろなコミュニティバスの路線図や時刻表を見ているが、これはなかなか見やすい。いろいろと工夫が見られる。 ・皆さんは、どうだろうか。修正は無理であるが、意見、質問はないだろうか。
長崎委員 （バス協会）	・鉄道の時刻を入れると良いと思う。 ・市民の利用にはこれで十分である。観光面を考えて、市外から来る人のために、目玉となる施設を載せるといいと思う。 ・次回の改訂の時に、考慮していただきたい。
山崎議長	・事務局、いかがだろうか。
事務局（伊藤）	・今、市の観光担当が、弥富市のパンフレットを作成している。その中にバスの関係も記載するようにお願いしている。
山崎議長	・確かに、あまり情報を入れると煩雑になってしまう。観光関係の部署が発行するものに、バスの情報を入れるのは良いと思う。

	・ほかに、いかがだろうか。今回は、修正はできないが、次回に向けて、また今後のPRに向けて、意見をお願いしたい。
鈴木委員 (女性の会)	・各バス停に、弥富市内の名勝、旧跡を入れていただければいいと思う。
事務局(伊藤)	・なかなかこのルート図に入れるのは難しい。先ほど言った観光パンフレットに記載する事を要請している。
鈴木委員 (女性の会)	・今度、さくら学区から4、5人特別支援学級に登校する予定である。自転車に乗れない人もいるので、バスを利用したいが、朝は全然間に合わない。こういう点は、考慮していただけるか。
事務局(伊藤)	・バスのダイヤは、いろいろな意見を聞きながら、ダイヤ編成を行った。すでにダイヤが固まってしまった後に、担当部署から今の話があった。23年度は、対応するのは難しい。 ・具体的に、何時頃に何処にという話があれば、それに合ったものをまた考えたいので、教えていただきたい。
鈴木委員 (女性の会)	・朝は送って行けても、帰りは仕事があったり、早退などいろいろな場合がある。今年度は無理でも、是非留意していただきたいと思う。よろしくお願いしたい。
山崎議長	・ダイヤ等は毎年見直しをしていくので、今後、改変時に検討していただきたい。事務局では常にこういった情報を整理して、改変のタイミングで反映できるように、常にいいバスにしていこうという姿勢で臨んでいただきたいと思う。 ・ほかに、いかがだろうか。 (意見なし) ・それでは、4月からこの形で運行開始するという事で、PRとあわせて事務局には頑張っていただきたい。よろしくお願いしたい。 ・議題の最後になるが、その他として、愛知県の交通対策課から公共交通利用促進モデル事業成果報告会というチラシを配っていただいているので、説明をお願いします。
代理 崎下氏 (交通対策課)	・1枚もので、表題に「公共交通を支える地域の取り組み」と書いてある資料である。これは愛知県が主宰するイベントの案内である。 ・愛知県では、車と公共交通、自転車、徒歩などを賢く使い分けるエコ・モビリティライフの運動を推進している。その中で、今年度は、県内の各所で住民が自主的に公共交通の利用促進に取り組んでいるところを、モデル事業という形で審査させていただき事業を展開してきた。今年度の事業の成果を広く披露させていただき報告会を来週、3月17日、木曜日の14時から名古屋駅前にあるウインク愛知、旧中小企業センターの10階会議室で開催する。中身は、資料にあるように、4つの団体で、それぞれコミュニティバスの利用促進や、エコ通勤などの取り組みについての成果報告である。是非、参考にさせていただきたいということで案内させていただく。是非、参加いただきたい。
山崎議長	・前は、運輸支局さんと、バス協会さんから、岐阜で開催のシンポジウム

	の案内があった。私も、シンポジウムに行ったが、連節バスも展示されており、大盛況であった。なかなか中身も面白かった。 ・今回の愛知県の催しは、いろいろな自治体で取り組んでいるバスの利用促進に関する報告会である。ちなみに(4)の「豊田市エコ通勤を進める会(豊田市)」とあるのは、市も事務局に入っているが、主は私共が行っている。県の事業に位置付けられ、補助金もいただいて取り組みを行っている。 ・弥富の場合も、駅までの自転車利用が多く、バスもあるけど自転車もあるということで、いろいろな交通手段がある状態というのは、健全であると考えられる。 ・時間のある方は、是非参加していただきたい。 ・これに関して、何かご質問はないだろうか。 ・運輸支局から、今日は…。
小林委員 (中部運輸局)	・前回の会議で、この活性化再生事業の事後評価の内容を検討していただいた。先月の21日に学識者と運輸局の職員からなる評価委員会が行われたが、弥富市の事業については、特に指摘事項はなかった。学識者からは、定期的にチェックして利便性の高いネットワークを構築してほしいというコメントがあった。正式には3月半ばに、文書で弥富市に評価結果通知が出される予定である。 ・前回の会議で、23年度の地域公共交通関係の予算は、300億円になったこと、また制度の変更について報告した。新しい制度の要綱は、3月10日過ぎになると聞いている。今日の段階では、説明できないが、弥富市は地域公共交通活性化再生事業をやっているということで、来年度は2年目で、経過措置で1年間、認められている。23年度も、今年度並みの予算が39億円付いた。 ・3年目は新しい制度の条件に合致すれば、そちらに移行していただくことになる。まだ新しい制度の要綱が固まっていないので、詳細は次回にさせていただきます。
山崎議長	・公共交通といってもいろいろな形があって複雑なので、運輸局でも苦労して要綱を作成しているようである。 ・新しい制度でも、何らかの補助がいただける形になるようお願いしたい。 ・では、市長。
服部市長	・皆様、ご苦勞様。 ・今後については、運輸局から説明のあったとおりである。 ・本日、公共交通の予算について審議いただいたとおり、市の具体的な歳出は、1億4千万と大変大きな金額である。 ・国の補助金額はまだ定かになっていないが、支援を強く願います。 ・海部群では、それぞれの自治体がこういったコミュニティバスを運行しているが、飛島村も1億5千万ほどかかっていると聞いている。飛島村では、西部臨海工業地帯の従業員の方々のために、蟹江駅や名古屋の地下鉄駅の築地口まで運行している。 ・また木曽岬町でも、今新たな課題が生じていると、町長から聞いている。 ・いずれにしても、それぞれの自治体で、コミュニティバスの運行は大変厳

	しくなっている。 ・今年度、新たに改良を加えてコミュニティバスの運行をしていくわけだが、皆様からは、いろいろな角度からさらなる意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。
山崎議長	・名簿を見ていただくと、公募委員としてお二人に参加していただいている。公募委員の方の任期は、年度末までであるので、本日の協議会が最後の場となる。5回の会議に参加していただいて、感想でも何でも構わないので、一言ずつお願いしたい。
三村委員 (公募委員)	・一般市民として、バスが走っていると知らなかった。皆さんのお話をうかがって、大変な事業であると、改めて思った。 ・私も、周囲にバスの利用を働きかけたいと思った。
伊藤委員 (公募委員)	・私も公募委員になるまでは、バスの事をあまり知らなかった。弥富市は南北に長い地形なので、バスを運行する上で難しい問題がたくさんあると感じた。こちらを立てれば、こちらが立たずと、いろいろな意見があると思う。バスがないと困る方達が見えるので、事業が継続できるよう、バスを利用をするように、私も周囲に声をかけていきたいと思う。
山崎議長	・また来年度も、市民から公募委員を募ることになると思う。事務局、それでよろしいか。
事務局(伊藤)	・はい、来年再度、応募していただいても構わない。よろしくお願いします。
山崎議長	・以上で、本日の議題はすべて終了とさせていただきます。 ・市長、最後の挨拶を…。
服部市長	・忌憚のない意見をいただき、感謝する。 ・いよいよ変更されたダイヤ、ルートで、4月1日から新たに発進する。 ・我々も市民の足としてこのバスを育てていきたいと思っているし、多くの方に利用されてはじめて、バスも活きる。引き続き努力していきたいと思う。 ・また、来年度もよろしくお願いします。
山崎議長	・それでは以上をもって、第5回弥富市地域公共交通活性化協議会を閉会する。
	以上